



# 腐食促進試験機オプションの紹介

\*井上純

試験の省力化、使い勝手の改善、規格への準拠に貢献。

## ■ 運転時間の設定機能/噴霧・噴霧停止の設定機能(STP-100/CAP-100)

### ① 運転時間の設定機能

塩水噴霧・キャス試験の試験時間を設定できます。  
試験時間になると、自動で停止します。

### ② 噴霧・噴霧停止の設定機能

噴霧時間と休止時間、サイクル回数を設定し、電気・電子関連の規格に準拠した試験ができます(JIS C 2804※1、JIS C 2805※2、JIS C 2809※3 など)。  
指定したサイクル回数になると、自動で停止します。

### ③ 運転選択スイッチ

連続運転と①②の設定を切り替えます。

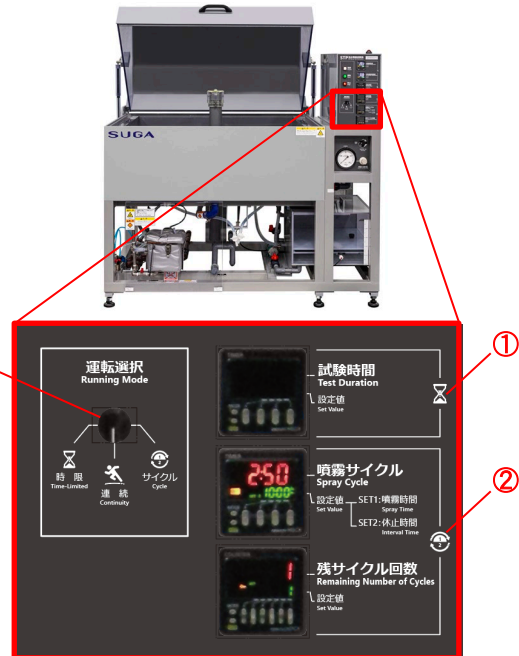


図1 設定機能を追加した制御盤

※1 JIS C 2804: 圧着端子

※2 JIS C 2805: 銅線用圧着端子

※3 JIS C 2809: 平形接続子

## ■ ASTM B117※4用噴霧採取容器

ASTM B117は塩水噴霧試験で広く採用されている規格のひとつです。その中で塩水噴霧室の条件として「噴霧採取容器は、いずれかのノズルに最も近いところに1つ、また全てのノズルから最も離れたところに1つ設置する」とあり、代表的な噴霧採取容器の配置を示す例として図2が描かれています。図2に沿って噴霧採取容器を配置した例が写真1です。当社では、ご要望の場所に噴霧採取容器を配置する設計が可能です。

※4 ASTM B117: Standard Practice for Operating Salt Spray (Fog) Apparatus

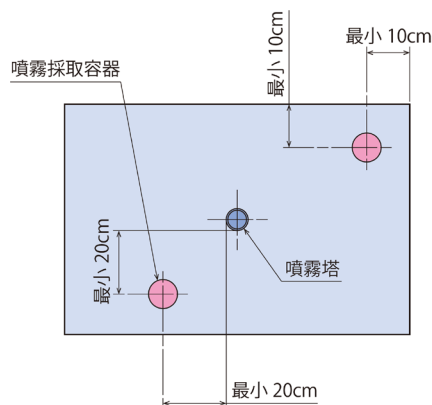


図2 代表的な噴霧採取容器の配置図



写真1 噴霧採取容器の配置例

### ■噴霧部ウォータージャケット(PAT.)

噴霧塔を囲む壁の内部に冷却水を循環させることで、噴霧中の試験槽内の温度を低温(例:15℃、30℃)に保ちます。低温の塩水噴霧試験(JIS K 5621<sup>※5</sup>、GB/T2423.18<sup>※6</sup> など)に対応しています。噴霧塔のミストマイザーから噴出するエアの流れを利用し熱交換することで、試験槽全体の温度をコントロールします。

※5 JIS K 5621: 一般用さび止めペイント

※6 GB/T2423.18: Environmental testing—Part 2:Test methods—Test Kb:Salt mist,cyclic(sodium chloride solution)

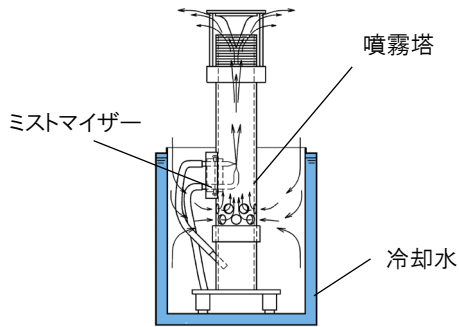


図3 噴霧部ウォータージャケット図



写真2 噴霧部ウォータージャケット実施例

### ■ウォーターシール部のカバー(登録新案)

本体と上蓋の隙間から水蒸気や噴霧の漏出を防ぐ「ウォーターシール」をカバーすることで、試料の出し入れやメンテナンス時に作業服の袖口などが濡れることを防ぎます。

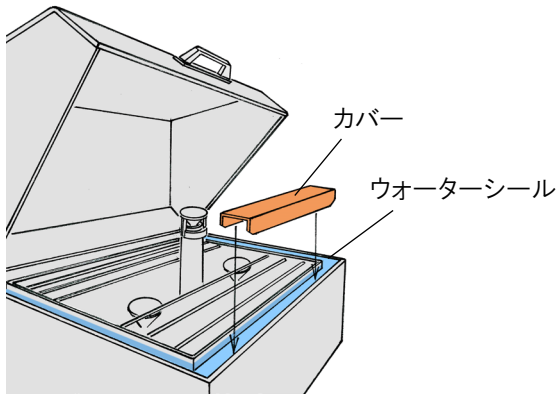


図4 ウォーターシール部のカバー

### ■自立式噴霧採取容器

設置場所の噴霧量を採取し、確認できます。試験槽の床面にそのまま置くだけで、設置位置の噴霧分布を確認することができます。

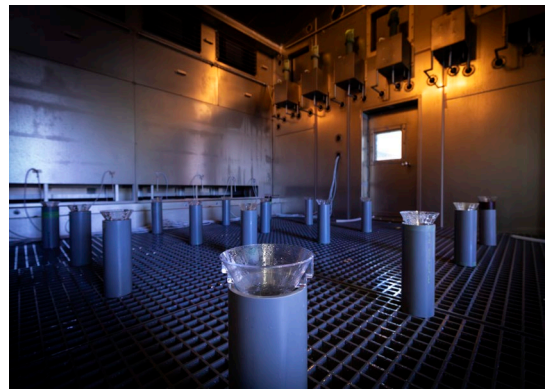


写真3 大型の複合サイクル試験機に設置された自立式噴霧採取容器

本誌252号・260号にも、腐食促進試験機のオプションを紹介しています。

- ◆試料設置オプション ◆噴霧塔位置の変更 ◆空気飽和器自動給水システム ◆湿球ガーゼ取付治具(登録新案)
- ◆攪拌機能付きの自動溶液補給装置 ◆キャスター付き30L溶液作製タンク
- ◆噴霧採取量・採取時間の自動記録システム ◆pH自動測定システム ◆排気処理装置 ◆洗浄水再利用装置
- ◆腐食照合試験片 ◆SUGA Super Salt™ ◆TM式水フィルター ◆節水仕様の自動給水器(ウォーターシール・湿球ポット用)
- ◆噴霧塔高さ調整治具(登録新案)

TM式はスガ試験機独自開発技術のシンボルです。

\*製造部 技術部長